

こもれび 武蔵野市社会教育委員だより
発行日：平成 30 年 3 月 1 日
編 集：社会教育委員の会議
発行者：武蔵野市教育委員会教育部
生涯学習スポーツ課 TEL 0422-60-1902
表紙ロゴ：亜紀ロゴイラスト工房
初版：500 部



武蔵野市社会教育委員だより

平成 30 年 3 月 1 日 第 3 号

管外研修レポート in 安中市

<研修概要>

他市の社会教育に関する特徴的な取り組みを視察し、武蔵野市の生涯学習への参考となるべきところを学び、活用、反映することを目的として実施。

<行程>

ひだまりマルシェ→安中市役所松井田庁舎→板垣與一記念館
→小林良曹アトリエ館

<委員の感想>

ひだまりマルシェにおいては、到着後施設（店内）を見学し、地元の食材を生かしたランチをいただきました。その後、「子ども食堂」を始める事になったきっかけを説明いただきました。子ども食堂は、武蔵野市でも始めているところがあり、大変興味深かったです。運営していくのは、いろいろな面で大変だと思

いました。安中市役所松井田庁舎では、安中市職員より安中市の社会教育の現状や観光、魅力についてご説明をいただきました。独自の取り組みや面白い特産品などを紹介いただき非常に興味を持ちました。（北村）

板垣與一記念館は、荒々しい景観の妙義山を遠くに臨む、静かな住宅街の一角にありました。この記念館は、現代アジア研究の板垣與一の蔵書・遺品を中心に、小島清、宇佐見義尚の蔵書約 1 万冊、そして、児童書が約 800 冊もあります。そして、その本の配置も面白く、記念館内だけでなく、記念館の周りを廊下が囲み、ところどころに蔵書とその本を読めるコーナーが設けられています。その奥には何があるのか？迷路のような楽しみもあり、独特の空間構成で私たちを楽しませてくれます。この記念館には、カフェ「南ヶ丘」も併設されていて、月に 2、3 回「ジジババ子ども食堂」に開放し、大人から子どもまで気軽に集まれるよう工夫されています。ゆっくりと本を読みながら、食事やお茶も楽しめ、人との交流もできるこの記念館は、地域のコミュニティの活性化に一役担いそうです。私設図書館としては、新しい試みをしていて、今後もここでどんな活動が繰り広げられるのか楽しみです。



カフェ「南ヶ丘」のテラスでの講義

るのではないかと感じました。地元の作家を語れる場があるということは、地域の方にとっても素敵な場所になっていると思います。（白田）



ひだまりマルシェの活動説明を受ける委員

小林良曹アトリエ館は、良曹の生家内にある蔵を改装したもので、その周りは山野草などが植えられた庭となっています。門からアトリエに至る空間も心が落ち着くような雰囲気、これから絵を鑑賞する準備が整う空間となっています。アトリエ内には、良曹の柔らかい独特な色彩の作品が展示されていて、その作品を見ながら、ゆっくりとコーヒーが飲めるよう、大きなテーブルが置かれています。郷土にちなんだ作品も多く見ることができ、良曹ファンにとっては、作品について語り合い、ファン同士が交流できる貴重な場になっている

教育委員 2 名も参加してくださいました！

全国社会教育研究大会北海道大会 in 札幌

第59回全国社会教育研究大会北海道大会（兼第57回北海道社会教育研究大会、第37回北海道市町村社会教育委員長等研修会）が、札幌コンベンションセンターで平成29年9月11日から13日にかけて開催されました。参加者は1,027名で、武蔵野市からは3名の社会教育委員と担当事務局員1名が参加しました。

第1日目は、全国社会教育委員連合理事会、全国社会教育委員連合事務局担当者会議が行われました。第2日目は、全国社会教育委員連合総会が10時から11時30分まで行われ、12時15分から全体会が、アトラクション、主催者挨拶、祝辞（神山大臣官房審議官、高橋北海道知事）、歓迎の言葉（秋本札幌市長）、表彰、記念講演（植松努氏：植松電機社長）、パネルディスカッション（テーマ：「まちづくり・人づくりに地域ぐるみで取り組む社会教育の在り方」）が17時まで行われるプログラムでした。「思うは招くー夢があればなんでもできるー」と題した植松努氏の記念講演は、教育における個性の扱い方について、同氏の体験から論じたもので、それは従来の伝統的な教育観を根本から覆すほどの強烈な印象を聴衆の多くに与えていたように思えました。

パネルディスカッションは、コーディネーターの巧みな司会によって、テーマに関してパネラーだけでなく聴衆の全員が意見交換（○、×カードの上げ下げによって意思表示）に参加でき、翌日の分科会のテーマに引き継がれるものでした。

第3日目は9時30分から12時まで6つの分科会に分かれてそれぞれのテーマに関して熱心な討議が行われました。第1分科会「社会教育委員会議の在り方と社会教育委員のかかわり」（宇佐見参加）、第2分科会「地域を担う人材育成の在り方と社会教育委員のかかわり」（亀井参加）、第3分科会「子育て・家庭教育支援の在り方と社会教育委員のかかわり」、第4分科会「青少年教育の在り方と社会教育委員のかかわり」、第5分科会「社会教育施設の在り方と社会教育委員のかかわり」（荒井参加）、第6分科会「地域おこしの在り方と社会教育委員のかかわり」（増田参加）に、当市からの4名の参加者はそれぞれの分科会に分担して参加し、終了後に昼食をとりながら各分科会の討議内容について意見交換を行いました。（宇佐見）



分科会のグループ討議の様子

札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」の見学

研究大会全プログラムの終了後に、札幌市宮の沢にある「札幌市生涯学習センター ちえりあ」を見学しました。この施設は、平成12年8月にオープンして平成29年時点で17年目になります。建物は地上6階地下1階、中央にガラス張りの吹き抜け空間を置いた壮大な規模を誇ります。「ちえりあ」は、「札幌市教育振興基本計画」の基本施策である「いきいきと学ぶ」「成果を活かす」「学びをつなぐ」をコンセプトにした複合施設です。事業としては、さっぽろ市民カレッジ、生涯学習関連講座、生涯学習普及事業、文化振興事業、学習活動支援事業、学習指導者・ボランティアの育成など多岐に渡ります。平成28年度の来場者は208,855名。運営は、指定管理者方式によっています。

センター長の堀澤純一氏の親切な案内で、講堂、ホール、カフェ（民間業者）、貸室などくまなく見学させていただきました。特に、施設内のカフェ経営の在り方に苦心されていることが印象に残りました。（宇佐見）



「ちえりあ」外観

関東甲信越静岡社会教育研究大会静岡大会 in 沼津

平成 29 年 11 月 16 日（木）から 17 日（金）までの 2 日間、静岡県沼津市で開催された社会教育研究大会。「社会教育で広げよう 人の和 地域の輪 ～未来へつながる地域をめざして～」を大会テーマに掲げ、日本全体が人口減少社会に転じ、地域社会の維持・活性化が難しくなっている現状の中、人と人とのつながりや地域での支え合いについて、社会教育委員としての私自身がもう一度考え、明るい地域社会を育てていく社会教育を推進するための学びの大会となりました。

歓迎セレモニーでは、地元の飛龍高校和太鼓部による演奏が披露されました。演目は、「音」「祭り」「一蓮托生」「火山」。男女の部員が奏でる演奏は力強く、元気と活力を受けとめることが出来ました。



分科会の様子

記念講演は、「徳川家康公と久能山東照宮」という演題で、久能山東照宮の落合偉洲宮司より 260 年にわたる平和な時代を築いた徳川家康とその遺言により葬られた久能山東照宮について、学校では習うことのない貴重なお話を聞くことができました。

シンポジウムでも、地域で活動している方々の特色ある貴重な活動やご意見を聞くことができました。地元の特色に付加価値をつけて、それぞれの点と点が線につながり輪になると強力なパワーになることを教えてもらいました。（亀井）



東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第5ブロック研修会

東京都市町村教育委員連絡協議会は、近隣市町村ごとに第 1 から第 5 まで各ブロックに分かれており、武蔵野市が所属する第 5 ブロックは、武蔵野市のほか、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市から構成されています。各ブロックでは社会教育委員の研鑽の場として年 1 回研修会を行っていますが、今回の研修会の当番は三鷹市で、10 月 28 日（土）に三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて行われました。当日は、社会教育に造詣の深い清原慶子三鷹市長の挨拶の後、三鷹市生涯学習審議会と社会教育委員の会議を兼ねた会長職にある日本女子大学教授田中雅文氏の講演（タイトル：「市町村における生涯学習の展望」）、そして、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの施設説明・見学が行われました。会場となった三鷹中央防災公園・元気創造プラザは、地上 5 階、地下 2 階に、総合スポーツセンター、生涯学習センター、子ども発達支援センター、総合保健センター、福祉センター、総合防災センターが入る複合施設で、平成 29 年 4 月にオープンしました。東八道路沿いにあるため、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。



田中雅文氏の講演

研修会では、三鷹市の社会教育行政の組織再編を伺い、今後の社会教育についてあらためて考えるとともに、第 5 ブロックの他の社会教育委員のみなさんとお目にかかって懇談できる良い機会でした。（岩崎）

東京都市町村社会教育委員連絡協議会 交流大会

平成 29 年 12 月 2 日（土）に、たましん RISURU ホール（立川市民会館）にて、「東京都市町村社会教育委員連絡協議会 交流大会・社会教育委員研修会」が開催されました。宇佐見議長、亀井委員とともに参加してまいりました。

第一部の交流大会では、多摩地区の 5 つの各ブロックの幹事を担当している市から、「子どももおとなも主体的に学び参加するまちづくりをめざして」というテーマでの報告があり、他市、他地域の取り組みを学ぶ大変に貴重な機会となりました。

第二部は、演芸、演劇台本を多数書かれておられる稲田和浩氏の講演「江戸の生涯学習～江戸っ子たちの文化的な生活～」があり、江戸時代を「学び」という観点から生き生きとお話いただき、大変に新鮮でした。（竹内）



開会宣言をする宇佐見議長

■社会教育委員 日々の活動紹介■

「明るい豊かな社会に向けて」

堀内 雄次郎

私の所属しております「武蔵野青年会議所」は 20 歳から 40 歳までの志ある青年が集まり、明るい豊かな社会を目指して運動をしている公益団体です。地域の問題を独自に調査研究し、解決のために事業を構築することで地域をより良くするとともに私たち会員も学び成長する機会を提供しております。本年、武蔵野青年会議所は設立 45 周年を迎えることが出来ました。わんぱく相撲を始め様々な事業を通じ地域の皆様に、より必要と思われる団体として認知されるべく運動を展開しております。青年会議所（通称 JC）の活動をまちで見かけた際には暖かい目で見守って頂ければ幸いです。

「学校から学びの発信を」

河合 雅彦

生涯にわたり、様々な場面で繰り返し学び、豊かに成長していく社会が求められています。そのためにも、社会教育と学校教育の連携・協力がこれまで以上に大切であり、学校が地域社会における一つの教育拠点となる必要があります。

現在、市内小中学校では、道徳授業地区公開講座を年 1 回実施しています。保護者・地域の方々に各校の道徳授業を御覧いただき、地域社会と一体となって、子供たちの道徳教育を考えようというものです。日程等、地域の学校にご確認ください。

■図書館で見つけた！ 社会教育委員イチオシの本■

『危険生物 ファーストエイドブック 陸編』 2017 年 5 月出版/フルカラー/128 頁/B6

『危険生物 ファーストエイドブック 海編』 2017 年 7 月出版/フルカラー/96 頁/B6

(NPO 法人 武蔵野自然塾 編 文一総合出版)



スズメバチ、ヒアリ、マダニ、セアカゴケグモなどニュースで話題になった生き物をはじめ、野外で出会うかもしれない、人に害のある動植物を紹介し、予防、応急処置の仕方をわかりやすく解説しています。生息別、生物別、症状別に検索でき、野外活動、日常生活でいざという時に役立つ一冊です。動植物の写真がきちんと掲載しており、挿絵のイラストもかわいらしく、図鑑、読み物としても楽しめます。サイズもコンパクトで持ち歩きに便利です。

夏の海辺では、海編が役に立ちます。（白田）

※陸編のヒアリ情報については第 2 版（8 月発行）より掲載されており、下記サイトからダウンロードできます。

<http://www.bun-ichi.co.jp/digital/tabid/133/Default.aspx>